

学校名 熊谷市立江南南小学校
所在地 熊谷市小江川1881番地
電話 048(536)1305

1 本校の概要

本校は、明治19年に開校し、今年で138年目を迎える歴史と伝統のある学校である。豊かな自然環境のなかで、「夢と志をはぐくむ学校」を合言葉に、全職員が一丸となって「知・徳・体」のバランスのとれた教育に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組
- ・ 地域との連携

(2) 実践の概要

全校児童の読書意識を高め、豊かな心と幅広い知識を身に付けさせることをねらいとして、読書活動に取り組んでいる。

ア 本の読み聞かせ

年3回、金曜日の業前の時間に、「せせらぎの会」の方による読み聞かせを例年行っている。また、年10回、火曜日の昼休みに「ひだまりの会」の方による読み聞かせを例年実施し、さまざまな読み物に親しむ態度を育てている。



イ 読書目標の設定

児童の読書量の向上や習慣化を目指し、1～4学年では年間100冊、5・6学年では年間2500ページを目標に、読書活動に取り組んでいる。目標を達成した児童には、「読書賞」の表彰をしており、読書に対する意欲化を図っている。

ウ 図書委員の取組

図書室前に、図書委員の「おすすめの本」を掲示している。新しく購入した図書などを紹介し、児童が図書室に足を運ぶきっかけ作りとしている。今年度は、昨年度までと同様に絵と文で紹介するものと、書店等で見かけるポップのようなデザインのもの2種類を制作し、児童の図書室利用促進を目指した。

エ 読書月間

11月を読書月間とし、児童の読書意欲を高めると共に、豊かな心情・情操を育むことにより幅広い知識を身に付けさせ、学校図書館の利用指導を充実させることをねらいとして行っている。読書月間の主な取組として、以下のものが挙げられる。

- ・ 図書集会（児童集会）の実施
図書委員による「本を大切にしよう」の劇や、図書館利用に関するクイズなどを行った。
- ・ 読書感想文の校内放送
給食の時間に、校内放送を利用して、「読書感想文コンクール」の学級代表に選ばれた児童による朗読を行った。
- ・ 「読書の木」の作成
友達にすすめたい本の題名と内容を「読書の実」に記入し、学年ごとの「読書の木」に貼り掲示した。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 読書月間の取組、読み聞かせ活動などを通して、本に親しむ雰囲気が増え、高まった。
- ・ 読書賞の達成率が、担任の先生方の熱心な声掛けにより、1～4学年は15%→43%、5・6学年は15%→28%に向上した。（前期終了時）
- ・ 学校図書館補助員を中心に図書室の環境整備を行っているため、教師と図書補助員が連携して学習に必要な図書を選定するなど、各教科指導において図書を効果的に利用することができた。

(2) 課題

昨年度よりも読書に意欲的に取り組んでいる児童も多いが、学年目標達成児童の割合が低い。意図的、さらに積極的な読書への働きかけが必要と考える。

(3) おわりに

上記の読書活動を進めるとともに、学校全体で地域の方々や施設との連携を図りながら、読書活動の推進による豊かな心の育成に向け、より一層力を入れて取り組んでいきたい。

